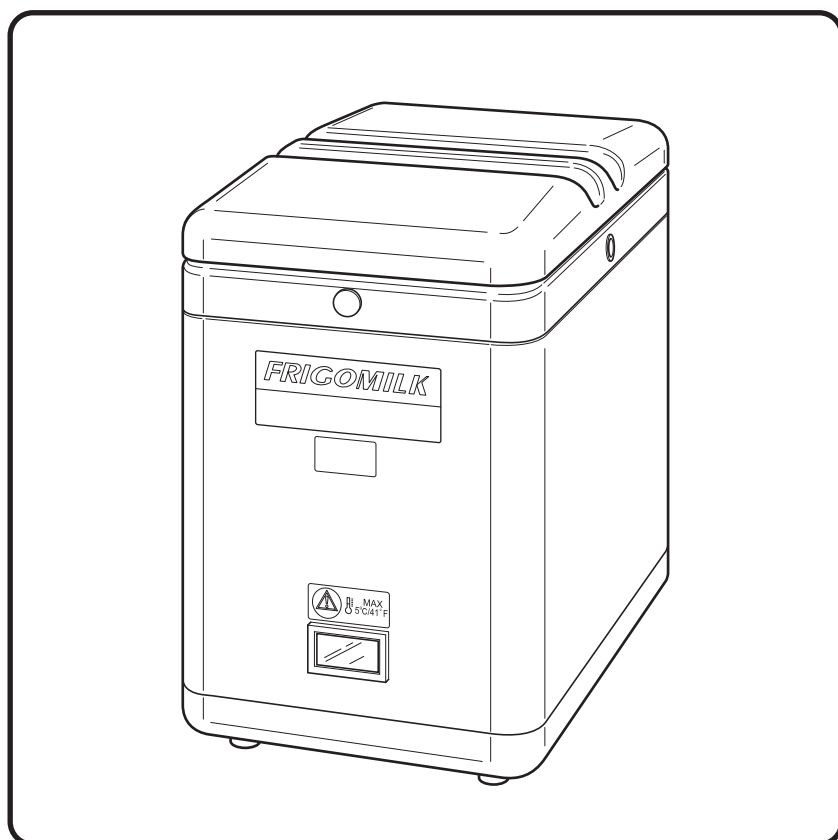


フリゴミルク【チンバリー】

FM-3DC（業務用）

**LA-CIMBALI****取扱説明書**

このたびは、当社のフリゴミルク（FM-3DC）をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

この商品を安全に正しくご使用いただくために、お使いになられる前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ安全にお使いください。

お読みになったあとは、大切に保管し必要ときにお読みください。

保証書は、この取扱説明書の最終ページに記載されております。  
必ず「お買上げ日・お買上げ店名」等の記入をお確かめください。

**保証書付**

# 目 次



安全上のご注意 .....	1 ~ 6
各部の名称 .....	7
据え付けかた .....	8・9
操作のしかた .....	10 ~ 12
お手入れ .....	13・14
故障の診断と手当 .....	15
仕様 .....	16
商品保証書 .....	17

# 安全上のご注意

ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください  
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください




## 表示と意味は次のようになっています

### 注意喚起シンボルとシグナル表示の例

 <b>警告</b>	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 <b>注意</b>	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害*の発生が想定される内容を示します。

\* 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

### 図記号の例

 感電注意	△は、注意（警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
 接触禁止	⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「直接手を触れないこと」を示します。
 プラグを抜く	●は、行動の命令（強制）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差し込みプラグをコンセントから抜く」を示します。

## ⚠ 警告



専用電源

本機の電源は、専用の漏電遮断器付サーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備のある専用コンセントを使用すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



禁止

AC アダプターと電源コードは、付属のもの以外使用しないこと

付属以外のものを使われますと、ショート、感電、火災の原因になります。



禁止

付属の AC アダプターと電源コードは、他の機器に使用しないこと

本機以外の機器に使われた場合、ショート、感電、火災の原因になります。  
付属の AC アダプターと電源コードは本機専用です。



屋外禁止

屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されますと、漏電、ショート、感電の原因になります。



湿気禁止

湿気の多い所や、水などがかかり易いところに据え付けないこと

本体や AC アダプター、電源コードに水などがかかりますと、絶縁低下から漏電、ショート、感電の原因になります。



水掛け禁止

本体や AC アダプターに直接水をかけないこと

ショート、感電の原因になります。



禁止

電源コードと DC コードは傷つけないこと

加工したり、引っ張ったり、たばねたり、また重いものを乗せたり、挟み込んだりすると、コードが破損し、感電、火災の原因になります。



禁止

AC アダプターや電源コード、電源プラグが破損している場合は使用しないこと

そのまま使われますと、ショート、感電、火災の原因になります。



点検清掃

電源プラグは、刃および刃の取付面にほこりが付着していないか定期的に確認し、刃の根元まで確実に差し込むこと

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、ショート、感電、火災の原因になります。

## ⚠ 警告



連絡

漏電遮断器または、サーキットブレーカーが『OFF(切)』に作動した場合には、お買上げ店に連絡すること

無理にレバーを『ON(入)』にすると、感電や火災の原因になります。



接触禁止

機械内部の電気装置や配線にさわらないこと

感電する恐れがあります。



濡手禁止

濡れた手で電源プラグなどの電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと

漏電、ショート、感電の原因になります。



禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

必ずプラグを持って抜いてください。  
電源コードを引っ張ると電源プラグ内部でコードが傷つき、ショート、感電、火災の原因になります。



プラグを抜く

異常時は電源スイッチを切って機械を止め、電源プラグを抜いて、すぐにお買上げ店へ連絡すること

異常のまま使用を続けると、ショート、感電、火災の原因になります。



ガス栓閉

ガス器具などからガスが漏れていたら、ガスの元栓を閉めて、窓をあけて換気すること

本機の電源スイッチを「ON(入)」にしたり、電源プラグを抜いたりすると、引火爆発し危険です。



洗浄

使用前と使用後は、バットの洗浄、除菌をおこなうこと

ミルクの腐敗により、雑菌が繁殖し、健康障害の原因になります。



分解禁止

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理したりしないこと

感電をしたり、修理に不備があると漏電、ショート、感電、火災などの原因になります。



改造禁止

改造は絶対におこなわないこと

改造をされると、液漏れや漏電、ショート、感電、火災の原因になります。

## ⚠ 警告



専門業者

廃棄は専門業者か、お買上げ店に依頼すること

放置しますと、子供などがケガをする原因になります。

## ⚠ 注意



水平据付

丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

据え付け場所が、ガタついていたり、かたむいていたりすると液漏れや転倒、落下によるケガなどの原因になります。



禁止

本機や AC アダプターの上に重量物や、水を入れた容器を置かないこと

落下してケガをしたり、こぼれた水で電気部品の絶縁が悪くなり、漏電、ショート、感電の原因になります。



熱器具禁止

熱器具を乗せたり、熱器具を周囲に置いたりしないこと

熱でプラスチックが溶けたりして危険です。



可燃物禁止

可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置かないこと

本機の電源スイッチを「ON」にしたり、電源プラグを抜いたりすると、発火の原因になります。



カバー閉

使用中は、カバーを開けたままにしないこと

冷えが悪くなってミルクが腐敗したり、ゴミやホコリ、虫などが入って健康障害の原因になります。



廃棄

終業後、残ったミルクは、放置しないこと

放置したミルクが腐敗した場合、健康障害の原因になります。



プラグを抜く

お手入れや点検のときは、必ず電源スイッチを切って機械を止め、電源プラグも抜くこと

感電したり、ケガの原因になります。



洗い流す

バットの洗浄時、洗剤を使った後は、洗剤成分を十分に洗い流すこと

洗剤成分が残った状態で使用されますと、健康障害の原因になります。



除菌

バットは洗浄後、必ずアルコール除菌をおこなうこと

雑菌が繁殖し、健康障害の原因になります。

## ⚠ 注 意



乾燥

アルコール除菌後のバットは、十分乾燥させること

乾燥が不十分の場合、雑菌が繁殖し、健康障害の原因になります。



プラグを抜く

ご使用後は、安全のため電源スイッチが「OFF」になっていることを確認し、電源プラグを抜くこと

電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になります。



動作点検

漏電遮断器は月に1回動作確認すること

漏電遮断器を故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因になります。



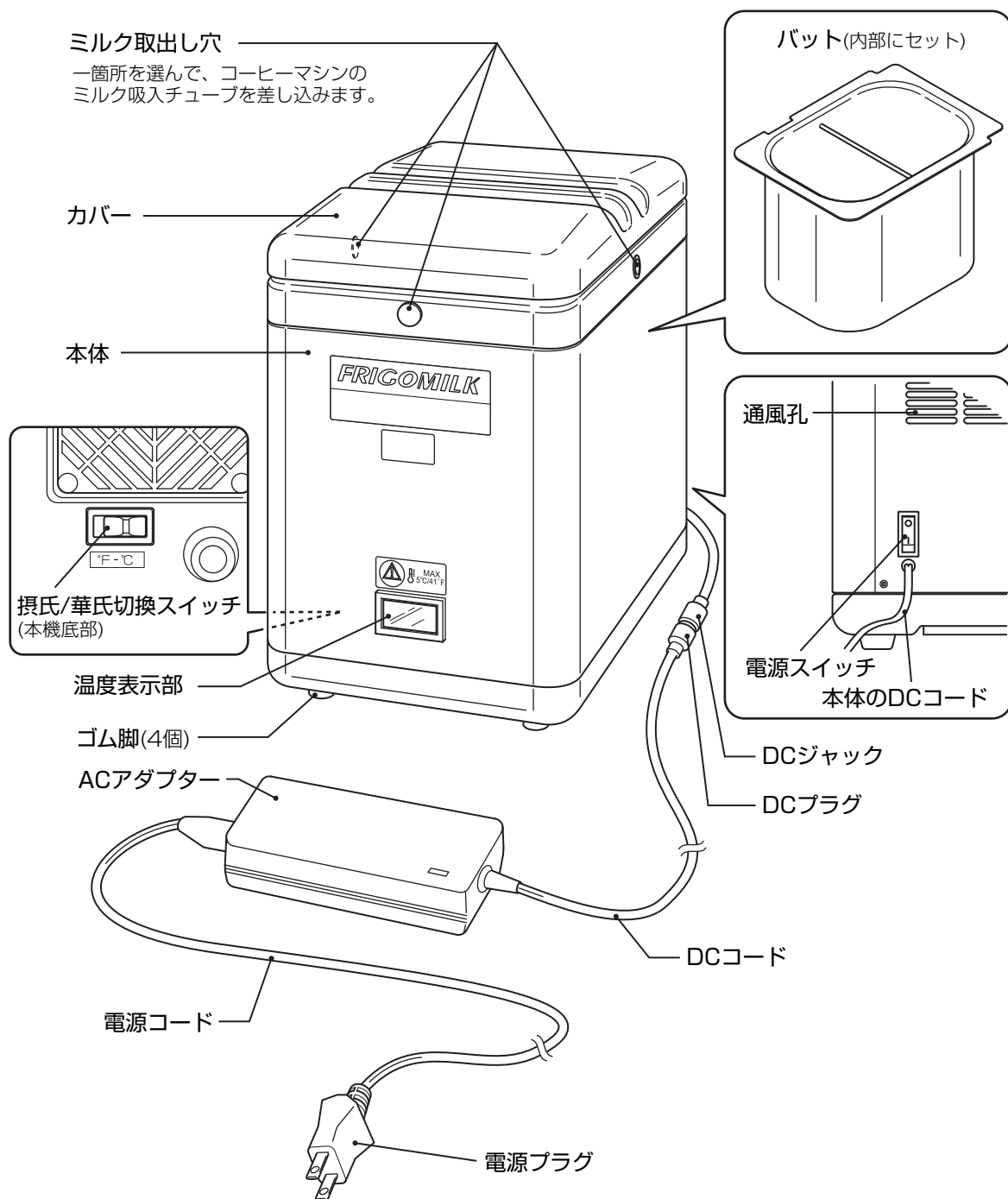
テープ止め

このお使いになっている商品を他に売ったり、譲渡されるときには、新しく所有者となる方が安全な正しい使いかたを知るために、この取扱説明書を商品本体の目立つ所にテープ止めすること



# 各部の名称

本機は、ミルクを保冷する機械です



# 据え付けかた

## ⚠ 警告



本機の電源は、専用の漏電遮断機付きサーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備のある専用コンセントを使用すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



湿気の多いところや、水などがかかり易いところに据え付けないこと

本体やACアダプター、電源コードに水などがかかりますと、絶縁低下から漏電、ショート、感電の原因になります。

## ⚠ 注意



丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

据え付け場所が、ガタついていたり、かたむいていたりすると液漏れや転倒、落下によるケガなどの原因になります。

## お願い

本機の周囲(コーヒーマシン側を除く)は、壁および物から 100mm 以上空けてください。

特に、機械背面の通風孔は塞がないでください。

熱がこもると、電気部品に影響をおよぼし、故障の原因になります。

直射日光の当たるところや、周囲の温度が 32℃ 以上の高温になるところに据え付けないでください。

電気部品の故障の原因になります。

「チンバリー エスプレッソコーヒーマシン」の横に並べて据え付けてください

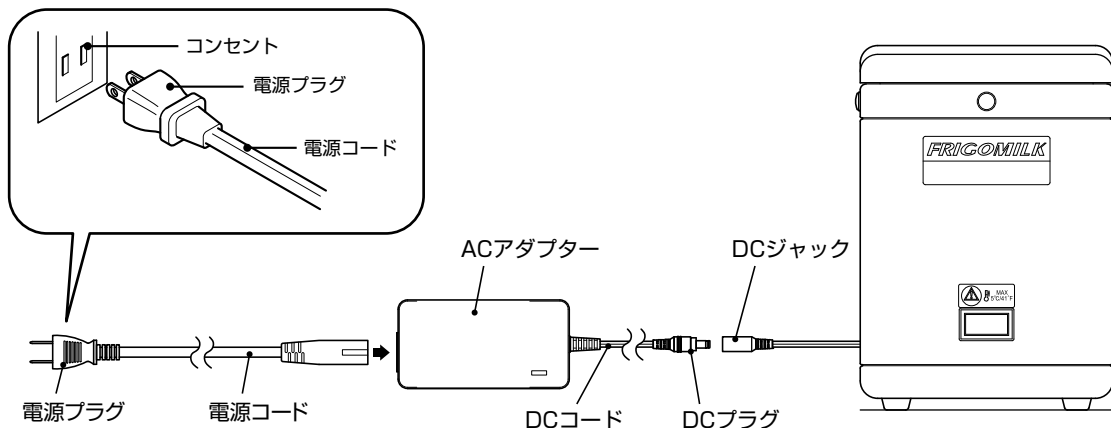
本機は、コンセントに電源コードを接続した場合、コードに余裕があるように据え付けてください

電源コードの長さ：電源コード 1.8 m、DC コード 1.2 m

電源コードを AC アダプターに接続してください

AC アダプターから出ている DC コードの DC プラグを本体から出ている DC ジャックに接続してください

ご使用の際は、本機専用のコンセントに電源プラグを差し込んでください



# 操作のしかた

1. ご使用前に、バットとカバーを取り外して、きれいに洗浄し、アルコールをスプレーして除菌してください

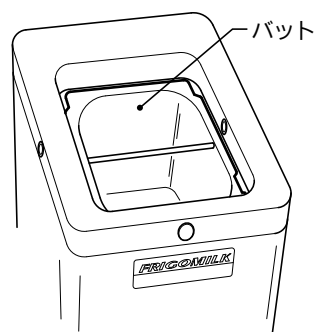
(コーヒーマシンのミルク吸入チューブも洗浄しておいてください。)

2. バットを本体内にセットし、一度カバーを取り付けてください

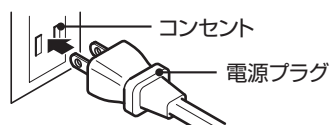
## お願い

必ずバットがセットされているか、確認してください。

バットがセットされていない状態で、ミルクを入れますと、故障します。

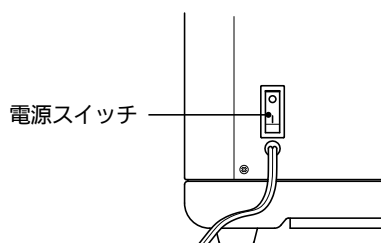


3. コンセントに、電源プラグを差し込んでください



4. 機械背面にある電源スイッチを『ON』に（「I」の方向に倒す）にしてください

温度表示部が点灯し、本体内壁部の温度が表示されます。



5. ミルクを入れる前にあらかじめフリゴミルクの庫内（バット内）を冷やしてください

表示温度が 5℃以下になるまで待ってください。

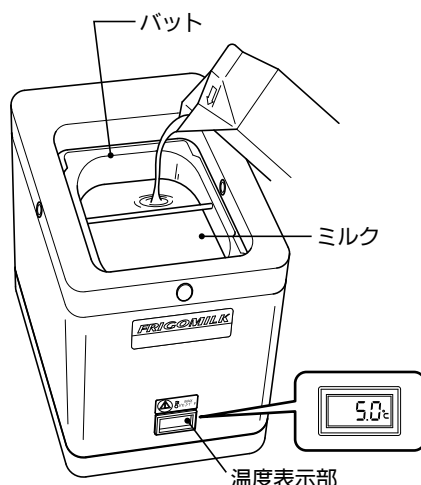
6. 庫内（バット内）が冷え、表示温度が5℃以下になりましたら、カバーを取り外し、冷蔵庫で約5℃に冷やしたミルクをバット内に入れてください

ミルクは約 3.0 L 入ります。

メモ

温度表示部に表示されるのは、本体内壁部の温度です。

フリゴミルク内のミルクの温度ではありません。  
従って、ミルクの温度と表示温度が異なっても異常や、故障ではありません。

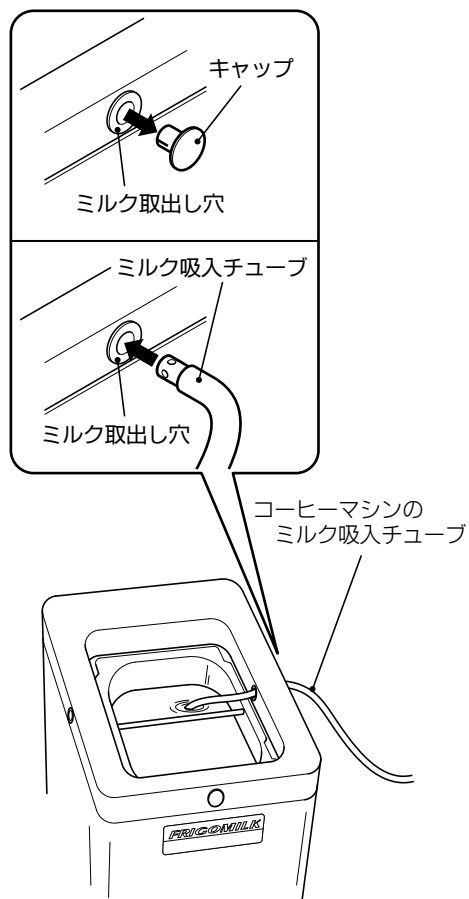


7. コーヒーマシンのミルク吸入チューブの先端を、フリゴミルクのミルク取出し穴に差し込み、ミルクの底まで入れてください

ミルク取出し穴は、正面と両側面の3ヶ所あります。使い勝手のよい方向の取出し穴キャップを取り外して、ミルク吸入チューブの先端を差し込んでください。

使用中は必ずカバーをしておいてください。  
フリゴミルクは、約5℃に冷やしたミルクを保冷します。

カバーを取り外したままですと、ミルクの保冷性が悪くなります。また、ゴミやホコリ、虫が入って不衛生になります。



8. 使用中、ミルクの量が少なくなれば、補充してください

補充するミルクも、冷蔵庫で約5℃に冷やしたものをに入れてください。

## お願い

冷蔵庫で約 5℃に冷やしたミルクを入れて使用してください。

フリゴミルクは、庫内でミルクを冷却する機械ではありません。

あらかじめ冷やしておいたミルクを入れて保冷する保冷库です。

使用するミルクは、あらかじめ冷蔵庫で約 5℃になるまで冷やしてください。

この温度は、コーヒーマシンに接続してカプチーノ、カフェ・ラテ、泡立てミルクなどを抽出する際、ちょうど良い温度のミルクが得られるためです。

フリゴミルク内のミルクの温度が高すぎると、コーヒーマシンより抽出されるとき、ミルクの温度が変わります。

温度表示部の表示温度が、6℃以上を表示し続ける場合は、ミルクの温度を確認してください。

フリゴミルク内に入れたミルクの温度が高すぎることを考えられます。

この場合は、バットごとミルクを取り出して上部をラップで覆い、冷蔵庫で約 5℃になるまで冷やしてから再度フリゴミルク内に入れてください。

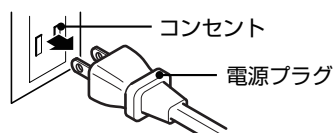
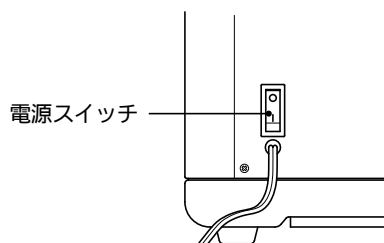
冷蔵庫にミルクを入れても冷えない場合は、冷蔵庫の設定温度を下げてください。

温度表示部の液晶面は、触らないでください。

表示画面が乱れる場合があります。

万一、画面が乱れた場合は、電源スイッチを『OFF』にし、約 10 分後、『ON』にすると元に戻ります。

## 9. 終業後は、電源スイッチを『OFF』（「○」の方向に倒す）にして運転を止め、電源プラグも抜いてください



## 10. フリゴミルク内に残ったミルクを廃棄してください

## 11. 使用後は、「お手入れ」の項に従って、本機を清掃してください

# お手入れ

いつも清潔にご使用いただくためと、機械を長持ちさせるために、使用後は各部をお手入れしてください。

## ⚠警告



本体に直接水をかけないこと  
ショート、感電、錆、故障の原因になります。

## ⚠注意



お手入れのときは、電源スイッチを「OFF」(切)にして、電源プラグを抜くこと  
ショートや感電の恐れがあります。

## カバーとバットの洗浄

1. カバーとバットを取り外し、食器用中性洗剤できれいに洗浄してください
2. 十分すすぎ洗いをして洗剤成分を完全に洗い流してください
3. 水分を切って乾燥させてから、アルコールをスプレーして除菌してください

### お願い

カバーは、食器洗浄機などは使用せずに、ぬるま湯で洗浄してください。  
高温洗浄すると変形したり、変色する恐れがあります。

## 本体の清掃

1. バットを取り外したあとの内部や本体外装部の汚れは、食器用中性洗剤を含ませた布かスポンジを硬く絞って拭き取ってください
2. きれいなお湯で濡らした布を硬く絞って、十分に洗剤成分を拭き取ってください
3. 完全に乾燥させてからアルコールを染み込ませた布などで拭いて除菌してください
4. 本体、カバー、バットが乾きましたら、本体にカバーとバットを元通りにセットしてください

## ミルク吸入チューブについて

ミルク吸入チューブの洗浄方法は、コーヒーマシンに付属している取扱説明書を参照ください

## お願い

カバーは、食器洗浄機などは使用せずに、ぬるま湯で洗浄してください。  
高温洗浄すると変形したり、変色する恐れがあります。

バットの洗浄後は、水気を切り、完全に乾燥させてください。  
水気がついたまま放置しますと金属部分が錆びる可能性があります。

カバーや本体を清掃するときは、クレンザー、酸類、ベンジン、ガソリン、シンナーなどは使わないでください。  
傷が付いたり、破損の原因になります。

カバーやバットの除菌洗浄をおこなう際の洗浄剤は、無泡性および低発泡性の除菌洗浄剤を使用し、入れすぎないようにしてください。  
濃度が濃すぎるとプラスチック、ゴムの部品を損傷します。

カバーやバットの洗浄をおこなう際は、気泡性、強力な浸食性、有毒性のある洗浄剤は絶対に使用しないでください。  
やむを得ず、塩素系の洗剤や電解酸性水などを使用して洗浄をおこなう場合は、漬け置きしないで洗浄してください。洗浄後は、十分にすすいでから乾燥させてください。  
漬け置きしますと、錆および腐食の原因になります。

除菌洗浄剤、アルコール除菌剤の使用については、各々の定める使用方法および、使用上の注意事項に従ってください。

本機を使わないときは、乾燥した場所に保管してください。

### 除菌洗浄剤について

本機のお手入れには、無泡性で、厨房設備および調理器具用のものをご使用ください。  
弊社（株式会社 エフ・エム・アイ）でも除菌洗浄剤（FMI 除菌洗浄剤）を取り扱っています。ご購入の場合は、弊社（株式会社 エフ・エム・アイ）または納入代理店へご連絡ください。



# 故障の診断と手当

故障かなと思われ修理を依頼する前に、次の項目を確認してください。

症状が改善されないときや「手当」の欄に「お買上げ店へ連絡してください。」と記載されている場合は、本機の電源スイッチを「OFF」（切）にして機械を止め、電源プラグも抜いて、早急にお買上げ店へ連絡してください。

ご連絡の場合は、本機の型式名、機番、お買上げ日、故障状況（できるだけ詳しく）をお知らせください。

状 態	診 断	手 当
電源スイッチを入れても保冷しない。	電源プラグが抜けていませんか？	電源プラグが抜けている場合は、コンセントに、電源プラグを差し込んでください。
	停電ではありませんか？	通電するのを待ってください。
	漏電遮断器が切れていませんか？	「OFF（切）」になっている場合は、お買上げ店へ連絡してください。
	ミルクは、あらかじめ5℃以下に冷やしていましたか？	冷やされていないときは、冷蔵庫などで5℃以下に冷やしてください。
	故障の可能性があります。	お買上げ店へ連絡してください。
本体から異常音が発生する。	丈夫な所に設置していますか？	不安定な場合には、お買上げ店へ連絡してください。
	据え付けが悪く、がたついていませんか？	水平で平らな場所に据え付けてください。
	本機に何か触れた状態になっていませんか？	接触しているものを取り除いてください。
漏電遮断器が切れる	漏電遮断器のレバーの位置が「OFF（切）」になっていませんか？	漏電遮断器が「OFF（切）」に作動した場合には、お買上げ店へ連絡してください。レバーが「OFF（切）」になっていると漏電している可能性があります。無理にレバーを「ON（入）」にすると、感電や火災の原因になります。
電源コードが異常に熱くなる。	—	お買上げ店へ連絡してください。
電源コードを折り曲げると通電したり、しなかったりする。	—	お買上げ店へ連絡してください。

# 仕様

品 名	フリゴミルク【チンバリー】
型 式	FM-3DC
外 形 寸 法	幅 220・奥行 325・高さ 315mm (突起物を含む：幅 225・奥行 340mm) (AC アダプターを除く)
電 源	100V 50 / 60Hz
電 流	1A
消 費 電 力	60W
バットの容量	3.0 L
質 量	本体：5.4kg、 AC アダプター（電源コードを含む）：320g
ACアダプター	AC100V → DC12V
電 源 コ ー ド	電源コード：1.8 m AC アダプターの DC コード：1.2 m

※上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。

付 属 品	AC アダプター…………… 1 個 電源コード…………… 1 本
-------	-------------------------------------

# エフ・エム・アイ商品保証書

《本書は、お客様の正常な使用状態において万一故障した場合、本書記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。保証期間経過後の修理等につきましては、お買上げ店にご相談ください。》

## 保証期間

保証の効力は、商品お買上げと同時に発生いたします。  
その期間は、1年間有効とし、機器本体を対象とします。

## 保証規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常なご使用状態で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、お買上げ店へご連絡ください。弊社にて「**無料修理**」いたします。
2. 保証期間内でも次の場合には「**有料修理**」となります。
  - 1) ご使用上の誤り、および製品の改造や不当な修理により発生した故障および損傷。
  - 2) 火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧その他の外部要因による故障および損傷。
  - 3) 車輛、船舶に搭載して使用された場合の故障および損傷。
  - 4) お買上げ後の転倒、落下や取付場所の移動などによる故障および損傷。
  - 5) 本書の提示がない場合。
  - 6) 本書にお客様名、お買上げ年月日、お買上げ店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
  - 7) 指定外の使用電源（電圧、周波数）の使用による故障および損傷。
  - 8) 本書は日本国内においてのみ有効です。
  - 9) 消耗部品は、保証の対象範囲から除外させていただきます。

※ この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。  
従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。  
保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買上げ店にお問い合わせください。

## 修理対応期間（補修用性能部品の保有期間）

当社は、本製品の修理対応期間（補修用性能部品の保有期間）を販売打ち切り後5年とさせていただきます。

修理対応期間（補修用性能部品の保有期間）を終了している場合は、修理のご依頼をお受けできないことがあります。

品 名		フリゴミルク【チンバリー】		
型 式		FM-3DC	製造番号	
お 客 様	ご 芳 名	様		
	ご 住 所	〒 TEL. ( )		
お 買 上 げ 店	店名・住所			
お買上げ日	年 月 日	無料修理保証期間	お買上げ日より1年間	

# 株式会社エフ・エム・アイ

東京：〒106-0041 東京都港区麻布台1丁目11番9号 Tel.03(5561)6521

大阪：〒538-0044 大阪市鶴見区放出東3丁目11番31号 Tel.06(6969)9393

営業所 札幌：〒003-0002 札幌市白石区東札幌二条5丁目4番1号 Tel.011(813)8651

仙台：〒983-0034 仙台市宮城野区扇町2丁目1番9号 Tel.022(238)5711

名古屋：〒454-0822 名古屋市中川区四女子町2丁目46番地 Tel.052(361)7891

広島：〒731-0102 広島市安佐南区川内6丁目43番9号 Tel.082(876)1855

福岡：〒812-0839 福岡市博多区那珂1丁目30番21号 Tel.092(481)2931

出張所 北陸：〒921-8027 金沢市神田1丁目23番11号 Tel.076(243)7810

沖縄：〒901-2214 宜野湾市我如古1丁目54番21号 Tel.098(870)2766

サービス盛岡：〒020-0124 盛岡市厨川4丁目14番5号 Tel.019(648)5390

ステーション 四国：〒768-0012 香川県観音寺市植田町155番地1 Tel.0875(57)5161

鹿児島：〒890-0073 鹿児島市宇宿1丁目15番8号 Tel.099(263)8281

東京修理工場：〒130-0011 東京都墨田区石原4丁目35番7号 Tel.03(5819)1280

ホームページ <http://www.fmi.co.jp/>